

## 小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。  
 未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	算数「正多角形と円」
学年	小学校第5学年
目標	単元の学習内容をコンピュータで活用し、正多角形をかくことについての理解を深める。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	embot
環境	タブレット（児童4～5人につき1台）
都道府県	神奈川県
実施校	横須賀市立浦賀小学校
学習活動の概要・児童の様子（プログラミングの活動を中心に記載ください。）	<p>① 単元の学習において学習した手がきで作成する正多角形で、困った点を思い出し、正確にかきたいという気持ちを引き起こす。</p> <p>② ロボティクスのプログラミング教材で角度を設定できることに気づき、中心角を分割する手描きによる作図との連動を思い起こすことで、コンピュータを利用して実際に正多角形をかく活動を学習課題に設定する。</p> <p>③ 中心にロボットのコアを置き、回転角から1点から等距離の点をとることで、ロボットによる図形の描画を体験する。補助教材の動画を利用し、正多角形の性質を確認しながら進めることで、教科学習との関係を意識する。</p> <p>④ 児童の主體的な活動を尊重しながら、「ロボティクスを使用することで正確にかくことができること」や「手描きでは難しい正多角形を、ロボティクスの力を活用してかこうとすること」を中心に評価する。</p>
成果と課題	<p>・コンピュータ上の図形をかく活動を行った後だと、実際にかく作業でもコンピュータを使用することができないかという思いを持ちやすい。</p> <p>・装置づくりに時間がかかるので、時間的余裕が必要である。</p>

